

NUXX

DM-210 DIGITAL DRUM



取扱説明書

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

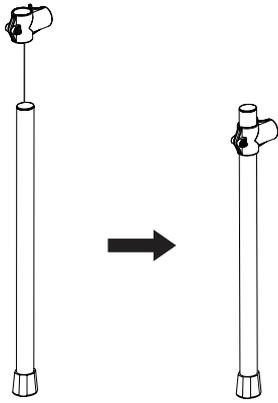


- ・**異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・**濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・**内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・**分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。

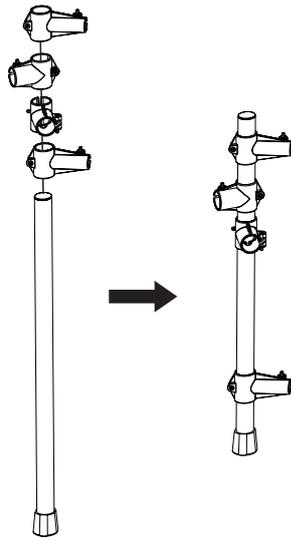


- ・**高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ・**乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
- ・**強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
- ・**ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・**対応した電源アダプター以外を使用しない**：付属の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定されたアダプターのみをご利用ください。 ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

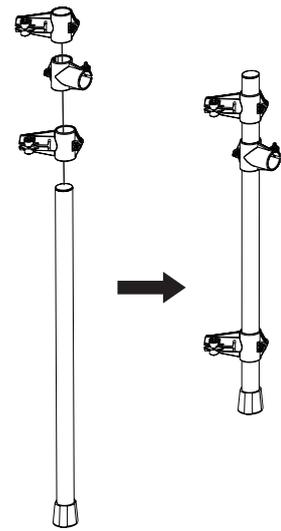
組み立て手順完成図	5
音源モジュール	9
外部機器の接続	10
ディスプレイ表示	11
演奏準備	12
操作方法	15
ドラムキットの変更.....	15
ドラムパッドの設定.....	15
エフェクト.....	17
デモソング.....	17
メトロノーム.....	17
レコーディング.....	18
コーチ機能.....	18
システム.....	21
MIDI リスト	22
ドラムキット一覧	22
技術仕様	23



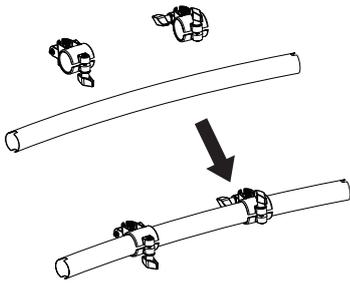
正面ドラムスタンド



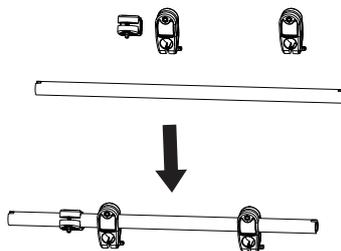
背面ドラムスタンド (左)



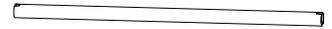
背面ドラムスタンド (右)



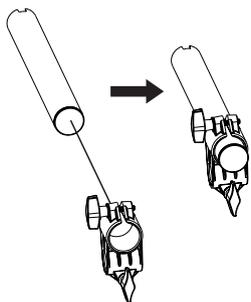
ドラムスタンドアーム



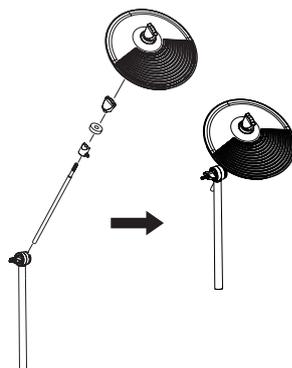
ドラムスタンド上部パイプ



ドラムスタンド下部パイプ

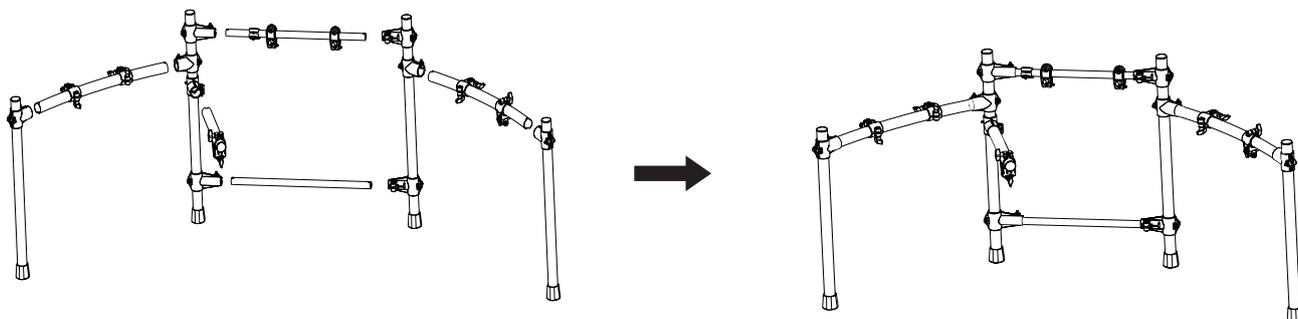


スネアホルダー

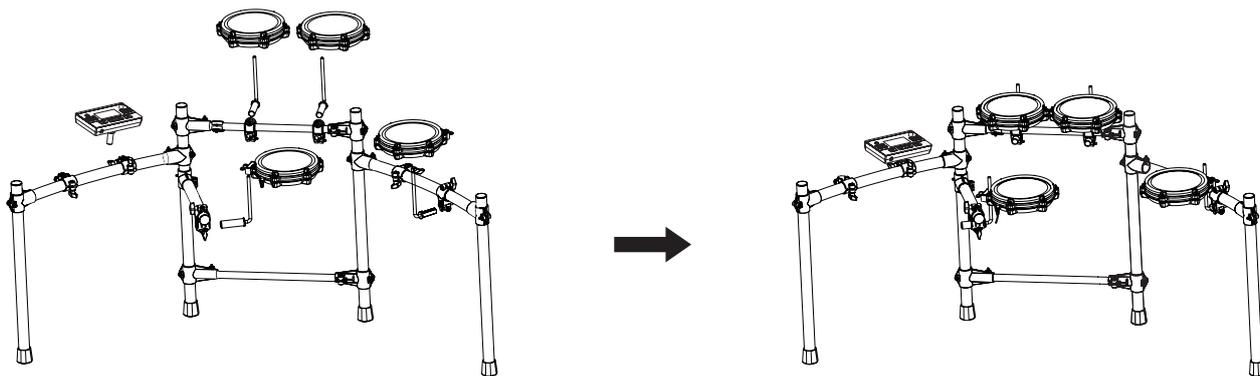


シンバル

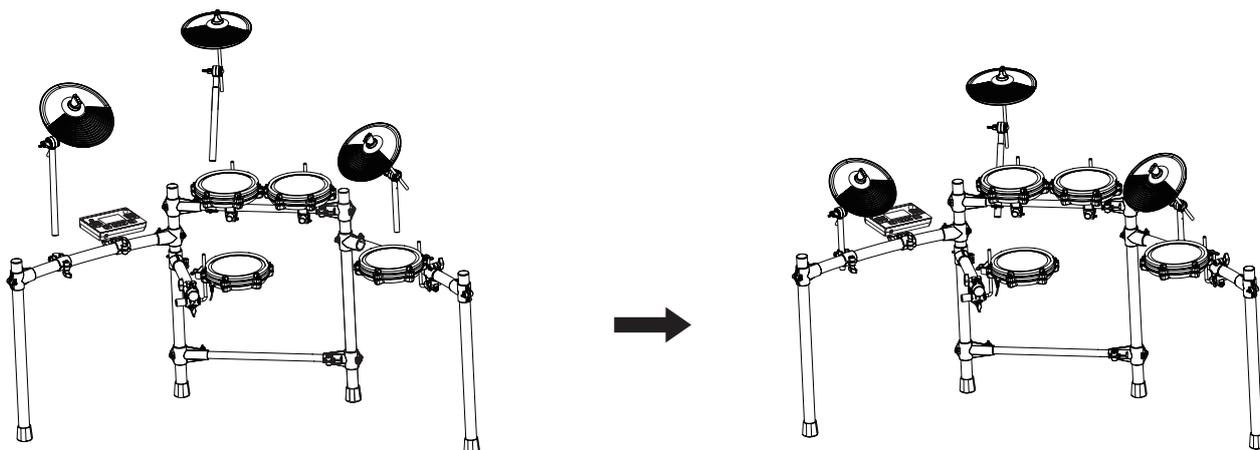
組み立て手順



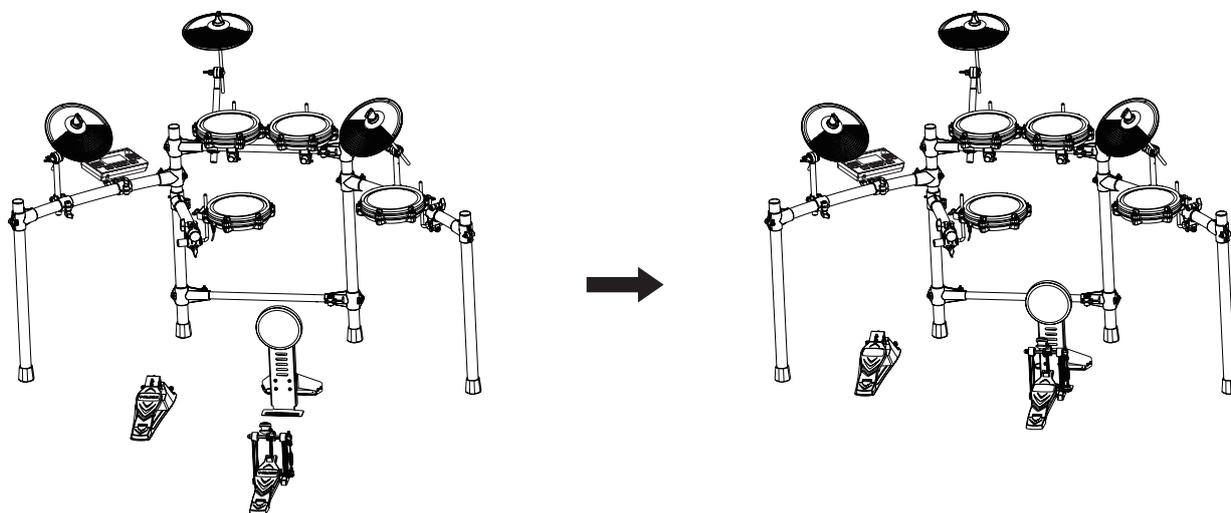
ドラムラックの組み立て



音源モジュールとパッドの取り付け



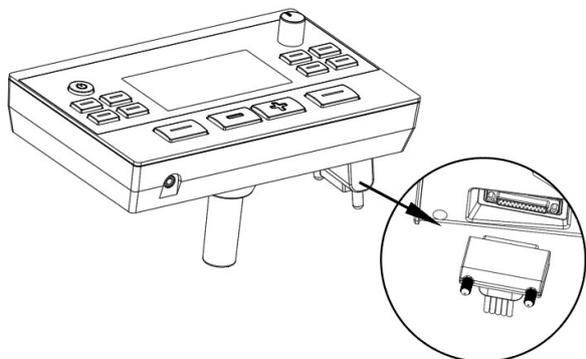
シンバルの取り付け



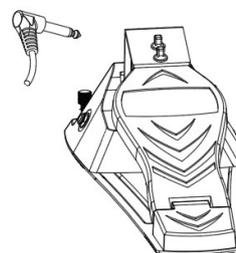
ハイハットとキックの組み立て

ケーブルの接続

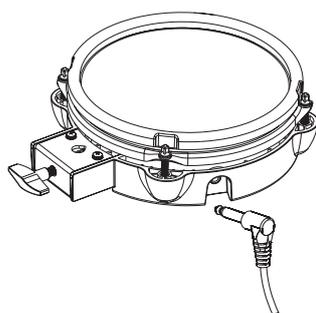
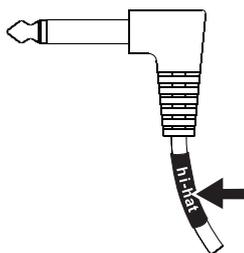
1. ケーブルを音源モジュールに接続します。



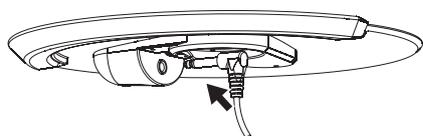
3. ハイハットコントロールとキックに接続します。



2. ケーブルに接続先のドラムパッドが記載されています。

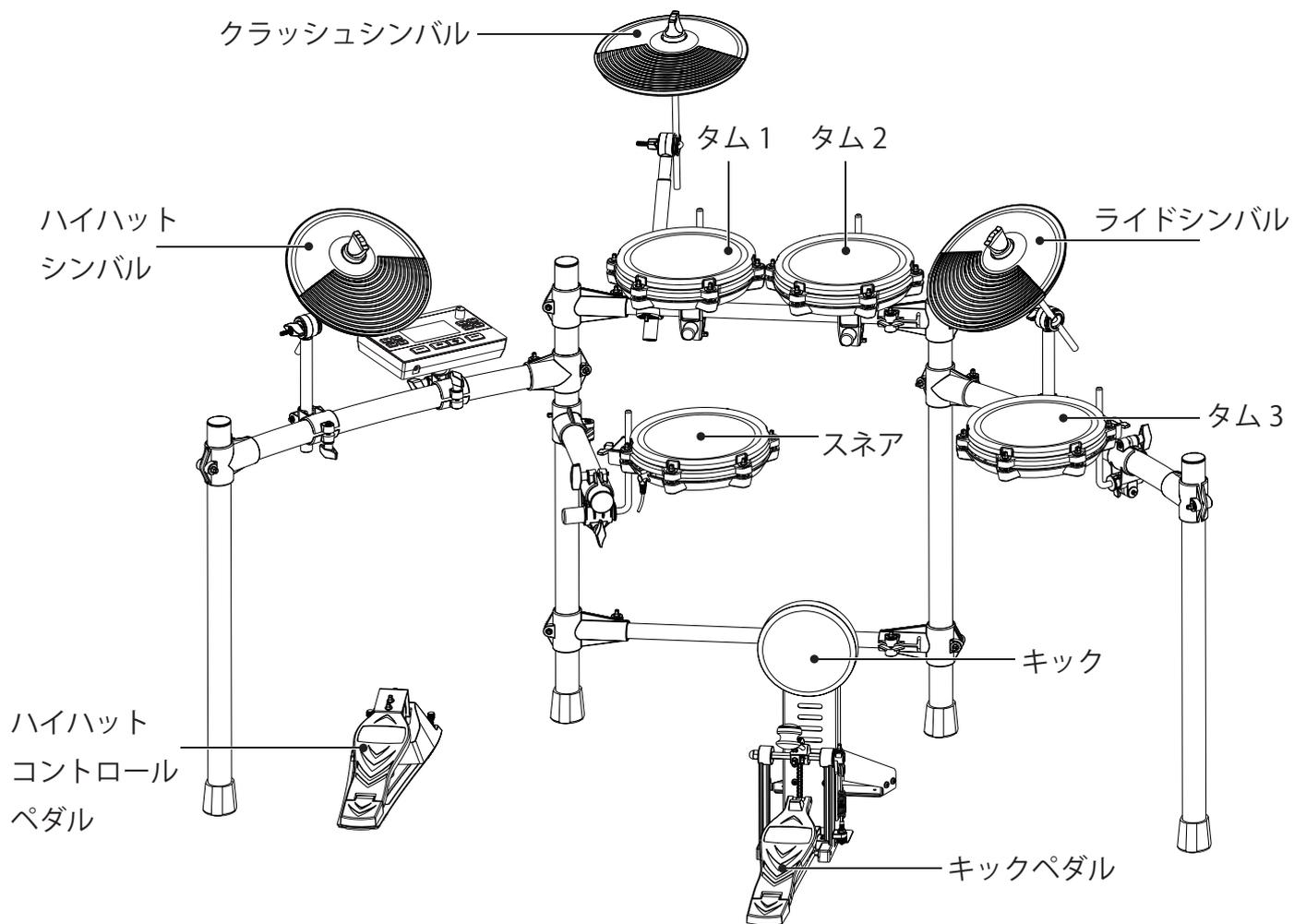


ドラムパッドに接続



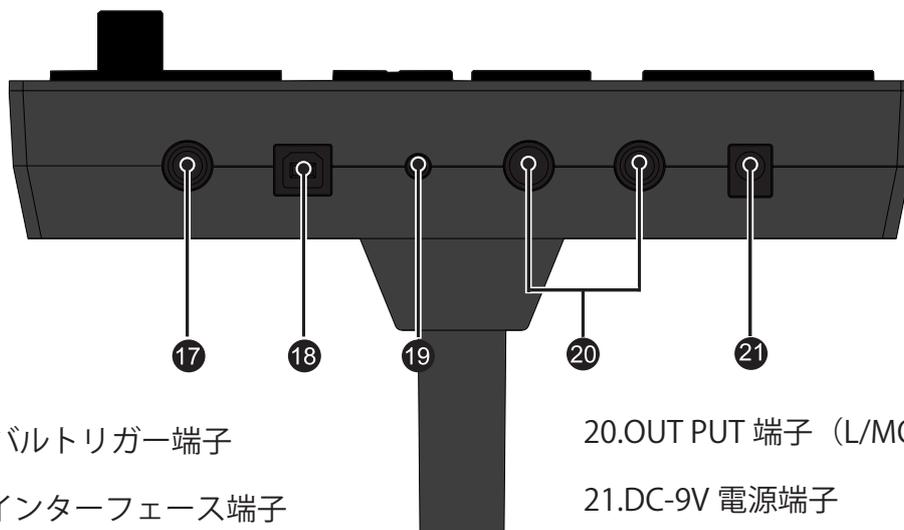
シンバルに接続

機器が故障することを防ぐため、ケーブルの接続時は音源モジュールの電源を切ってください。

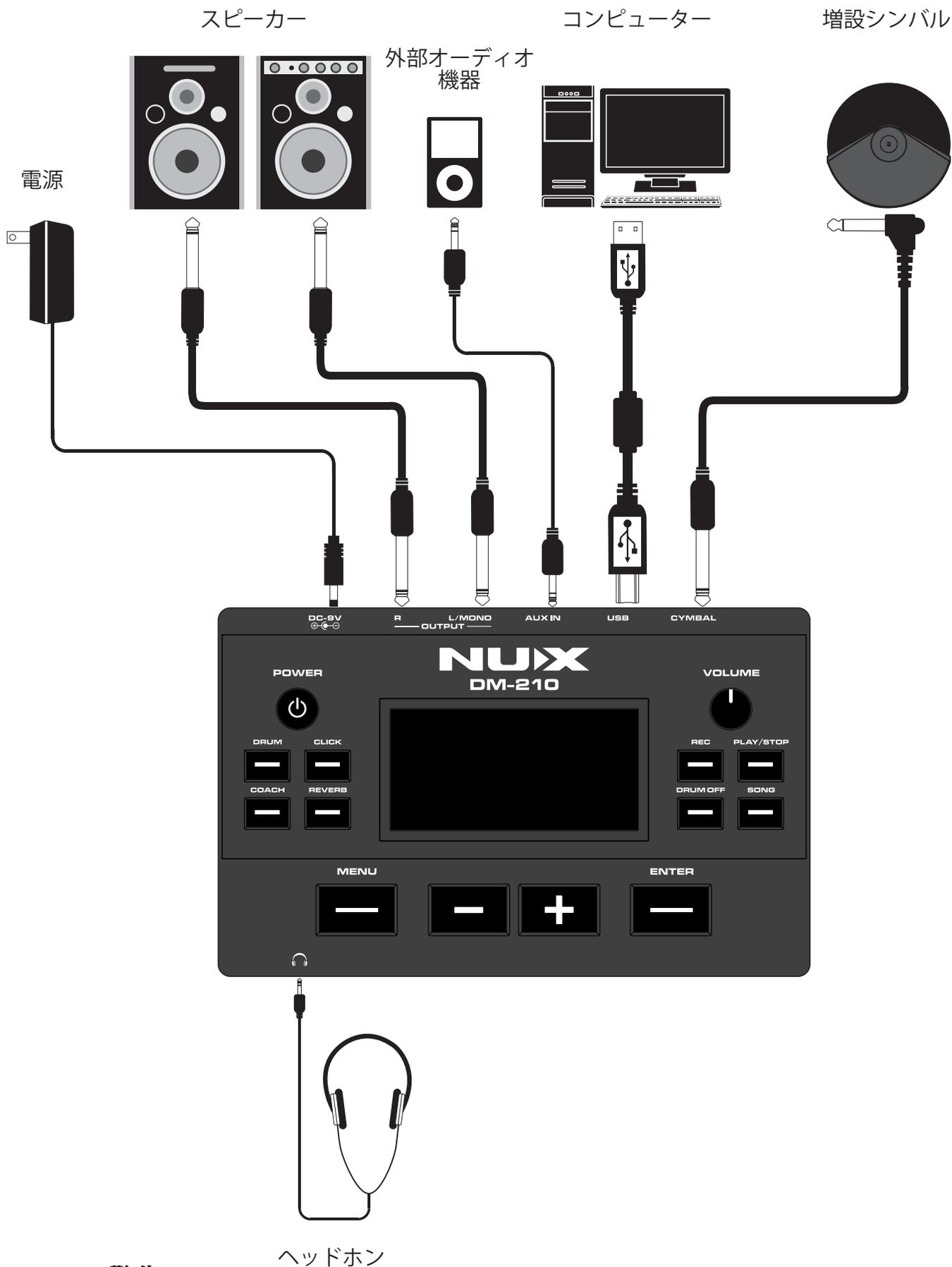




- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. ディスプレイ | 10. 録音ボタン |
| 2. 電源スイッチ | 11. 再生 / 停止 |
| 3. クリック on/off | 12. デモソング内ドラム音ミュート |
| 4. ドラムキットモード | 13. デモソング |
| 5. リバース on/off | 14. パラメーター調整 |
| 6. コーチ on/off | 15. ENTER ボタン |
| 7. パラメーター調整 | 16. ヘッドホン出力端子 |
| 8. メニュー | |
| 9. ボリューム調整 | |

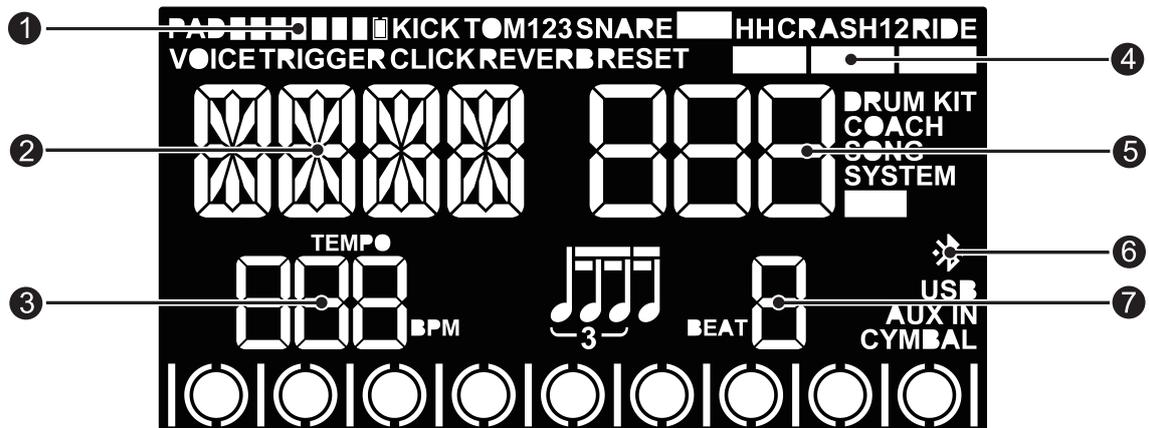


- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 17. シンバルトリガー端子 | 20. OUT PUT 端子 (L/MONO,R) |
| 18. USB インターフェース端子 | 21. DC-9V 電源端子 |
| 19. AUX IN インターフェース端子 | |



警告

機器が故障することを防ぐため、他の機器接続時は音源モジュールの電源を切ってください。



1. 電源表示

2. パラメーター名の表示

3. テンポ

4. パート表示

5. パラメータの表示

6. Bluetooth®

7. ビート

電源を入れる

1. マスターボリュームを下げます。
2. スピーカーのボリュームを下げます。
3. 電源を入れます。

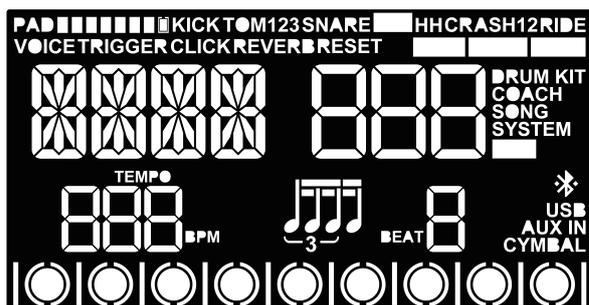


電源を切る

1. スピーカーのボリュームを下げます。
2. スピーカーの電源を切ります。
3. DM-210 の電源を切ります。



電源投入時に微弱なサウンドが発生する場合がありますが、問題なくお使い頂けます。

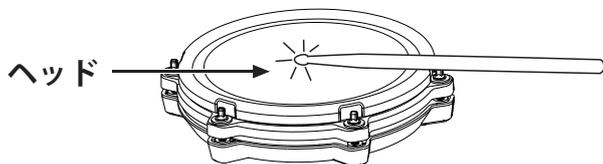


4. パッドを叩き必要に応じて音量を調整してください。

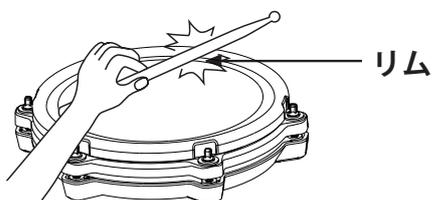
スネア

ヘッドショット

ヘッドを叩きます



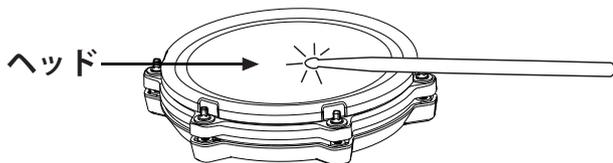
クロススティック



タム

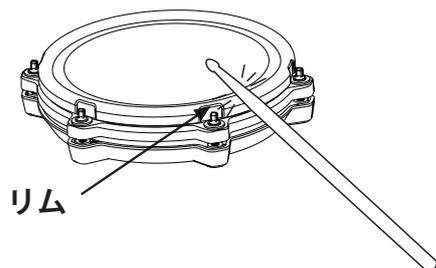
ヘッドショット

ヘッドを叩きます



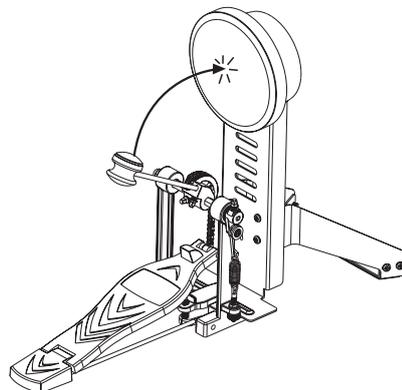
リムショット

リムを叩きます



キック

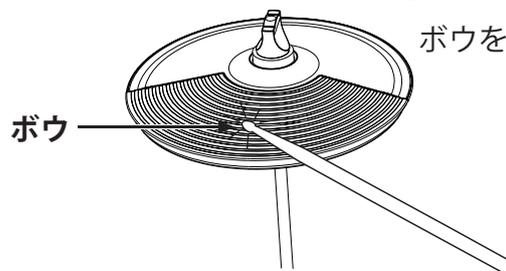
キックペダルを踏み込みます



クラッシュ・ライド

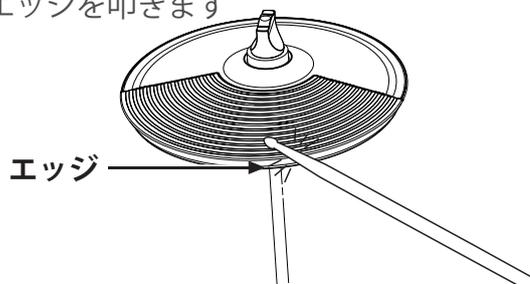
ボウショット

ボウを叩きます



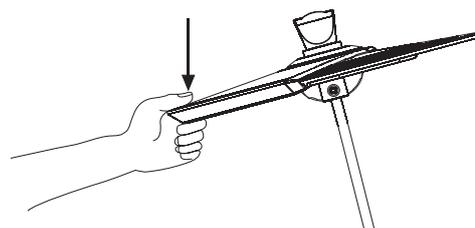
エッジショット

エッジを叩きます



チョーク奏法

シンバルを叩いた直後にシンバルのエッジを掴むことで、シンバルのサウンドをミュートできます。チョーク奏法はこの特定の部分を掴むことで可能になります。

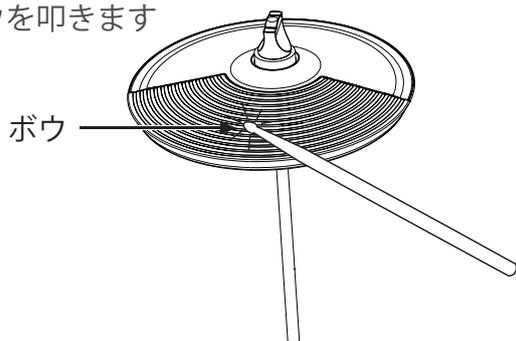


ハイハット

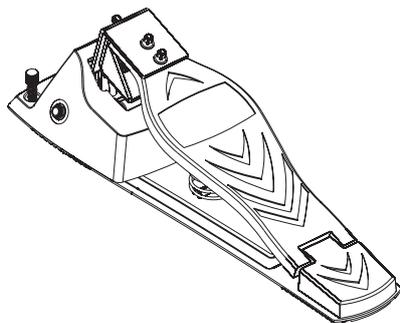
ハイハットの音色はコントロールペダルへの踏み込み加減によって、オープンとクローズがスムーズに変化します。

ボウショット

ボウを叩きます



ハイハットコントロール



オープンハイハット

ペダルを踏まずにハイハットを叩きます。

クローズドハイハット

ペダルを踏み込んでハイハットを叩きます。

ドラムキットの変更

ドラムキットの呼び出し

1. + ボタンを使ってドラムキットを変更します。
2. ドラムボタンを押すことですぐにドラムキットモードに入ります。



ドラムパッドの設定

1. MENU ボタンを押してドラムキットモードのメニュー機能に入ります。
2. + ボタンを使って VOICE または TRIG(trigger) を選択して、ドラムパッドのパラメーターを設定します。パラメーターを確定させる場合、ENTER ボタンを押して次に MENU ボタンを押してメイン画面に戻ります。



VOICE



TRIGGER

VOICE

1. VOICE 機能では設定したいパッドを叩くことで設定画面に入ります。
2. 設定したいパラメーターを選択して ENTER ボタンを押します。

3. + ボタンを使ってドラムパッドのドラムパッドのパラメーターを設定します。設定後 MENU ボタンを押します。設定したパラメーターは自動でセーブされます。



PITCH



PROGRAM CHANGE

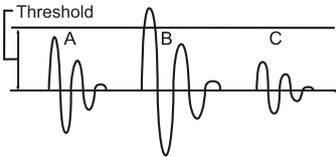
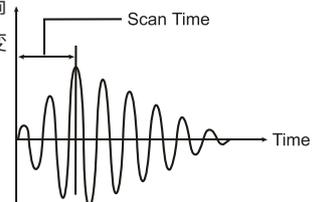
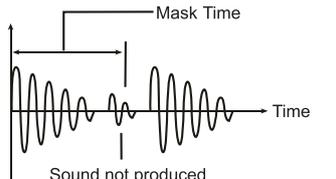


VOLUME

TRIG

1. TRIG 機能では設定したいパッドを叩くことで設定画面に入ります。
2. 設定したいパラメーターを選択して ENTER ボタンを押します。
3. + ボタンを使ってドラムパッドのドラムパッドのパラメーターを設定します。設定後 MENU ボタンを押します。設定したパラメーターは自動でセーブされます。



Parameter	Adjustment range	Parameter description
SENSITIVITY	01-99	ドラムのセンシティビティを調整します。センシティビティが高いほど、パッドを軽く叩いても音は大きく鳴ります。逆にセンシティビティが低ければどれだけパッドを強く叩いても音は小さく鳴ります。ご自身で使いやすいセンシティビティを調整してみてください。
THRESHOLD	0-16	ドラムのトリガーレベルを調整します。
<p>右図のように、B 波形が鳴り、A と C の波形は発生しません。</p> <p>Note：設定値が高すぎると、軽く叩いた音は鳴りません。</p> <p>NOTE スレッシュホールドのレベルが高すぎる場合には、軽く叩いた音は鳴りません。</p> 		
SCANTIME	02-08	トリガー音の検知時間を調整します。
<p>設定の際には、弱めと強めの両極端な叩き方で音量の自然な変化を確認してみてください。</p> <p>Note：設定値が高すぎる場合には、音が必要以上に長く鳴ります。出来るだけ低めに設定してみてください。</p> 		
MASKTIME	16-64	トリガーのマスクング時間を調整します。
<p>Note：速く演奏する場合、値が高すぎるとトリガー・信号をマスクしてしまう可能性があるため、できるだけ値を下げてください。</p> 		

Parameter	Adjustment range	Parameter description
XTALK CANCEL	00-80	クロストーク値を調整します。
<p>演奏の際、実施には叩いていないパッドも鳴ることがあります。その場合は XTALK CANCEL のパラメーターを調整することで改善します。Note：値が高く設定して2つのパッドを同時に叩いた場合、弱く叩いたパッドが鳴らないことがあります。クロストークがない状態にした上でできるだけ値は小さく設定してみてください。</p>		
CURVE	00-03	
RIM GAIN	01-99	パッドやシンバルを叩いた時に、パッドのリムやシンバルのエッジのみが反応するようにゲインを調整します。
HEAD RIM ADJUST	00-99	リムやサイドの方を叩いた時に思ったより音が出ない場合があります。その際にはこの HEAD RIM ADJUST を調整してみてください。値が低すぎると音が出ない場合があります。

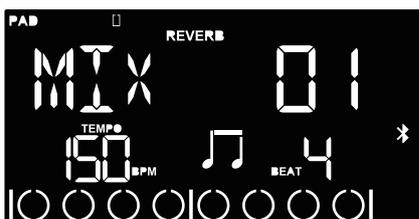
設定の際には、SENS と RIMG を一番使うことになると思います。ドラムヘッドのセンシティビティを調整する際には SENS から調整できます。リムのセンシティビティを調整するには RIMG から調整できます。シンバルのボウとエッジの調整には SENS と RIMG を使います。

略称と正式名称

ABBREVIATION	FULL NAME
SENS	SENSITIVITY
THRE	THRESHOLD
SCAN	SCANTIME
MASK	MASKTIME
XTLK	XTALK CANCEL
CRVE	CURVE
RIMG	RIM GAIN
RIMA	HEAD RIM ADJUST

リバーブ機能

1. REVERB を押してリバーブ設定画面に入ります。



2. 十一ボタンを使ってミックスを調整します。
3. REVERB ボタンを押して、リバーブ設定画面を終了します。

デモソング

1. SONG ボタンを押して DEMO ソング画面に入ります。
2. 十一ボタンを使って、曲を選択します。PLAY/STOP キーを使って再生／一時停止を行います。デモ曲中のドラムトラックをミュートする場合には DRUM OFF ボタンを押します。



3. SONG モードで、MENU ボタンを押して SONG 設定画面に入ります。
4. SONG 設定画面で、ENTER ボタンを押して設定したいパラメーターを呼び出します。十一ボタンでパラメーターの値を調整します。



メトロノーム



1. CLICK ボタンを押してメトロノーム機能に入り、メトロノームを作動させます。
2. メトロノーム画面で、ENTER ボタンを押して設定したいパラメーターを呼び出します。
3. 十一のボタンを使ってパラメーターの値を調整します。パラメーターの範囲は下記のようになっています。
 TEMPO:40-280bpm
 Rhythm: Quarter note, Eighth note, Triplet, 16th note
 Beat:1-9
 Volume:1-9
4. CLICKを押してメトロノーム機能を終了します。

レコーディング

1.REC ボタンを押して、レコーディング機能に入り、レコーディングが可能な状態にします。再度 REC ボタンを押すとレコーディング機能が終了します。



2.レコーディングが可能な状態であれば、どのパッドやシンパルを叩いても直ぐにレコーディングが始まります。



3.レコーディング中に、REC ボタンを押すか 5 秒ほど演奏をしないでいると、レコーディングは終了します。



4.END が出ている状態で、PLAY ボタンを押すとレコーディングされたデータが再生されます。REC ボタンを押すと再度レコーディングが可能な状態となります。



コーチ機能

COACH ボタンを押すと、コーチ機能に入ります。十一のボタンを使ってタイプを選択し、ENTER ボタンで確定させます。

TIME	TIME CHECK
C-UP	CHANGE UP
Q-CO	QUIET COUNT
S-CO	STROKE COUNT

TIME CHECK

1. TIME 0 の画面で、ENTER を押して TIME CHECK の準備モードに入ります。ディスプレイ表示が TIME 1 に変わります。



2. TIME 1 の画面で、CLICK ボタンを押して、準備の 1 小節が進んだあとに練習が開始されます。この練習中には、ディスプレイ表示が TIME 3 へと変わります。

(スコアが設定で既に ON になっている場合は、終了後にスコアが表示されます。)



3. TIME1 が表示されている状態で、MENU をクリックしてタイムチェックの設定に入ります。ENTER ボタンを押して調整したパラメーターを決定します。設定したい値が点滅して、+ ボタンでその値を調整します。(SCOR = オープン/クローズスコア、TIME = 練習時間、BPM = 練習速度)



CHANGE UP

1. C-UP 0 のモードで ENTER ボタンを押して、チェンジアップの準備モードに入ります。ディスプレイ表示は、C-UP1 に変わります。



2. C-UP1 のモードで、CLICK ボタンを押して 1 小節が終わってから、練習開始となります。ディスプレイ表示は、C-UP3 となります。

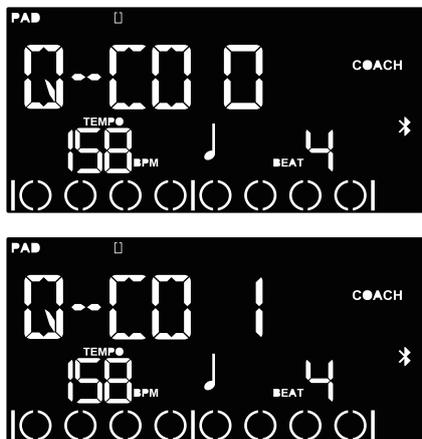


3. C-UP1 のモードで、MENU を押して CHANGE UP の設定に入ります。ENTER ボタンで設定したパラメーターを選択します。選択されたパラメーターが点灯し、+ ボタンでその値を調整します。(BAR= 小節数、テンポチェンジ後の小節数、BPM = 練習速度)



QUIET COUNT

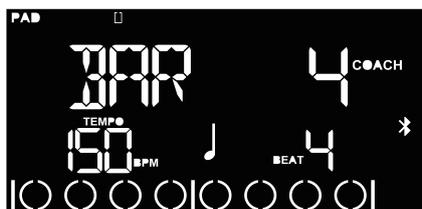
1.Q-COO の画面で ENTER ボタンを押して、クワイエットカウントの練習準備モードに入ります。ディスプレイ表示が Q-CO 01 に変わります。



2.Q-C01 のモードで CUCK を押して、準備の 1 小節が進んだあとに、練習が開始されます。この練習中にはディスプレイ表示が Q-C03 へと変わります。



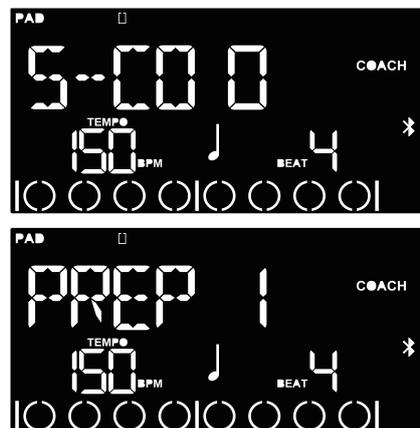
3.Q-C01 が表示されている状態で、MENU を押して QUIET COUNT の設定に入ります。ENTER ボタンを押して調整したいパラメーターを決定します。設定したい値が点滅し、＋ボタンでその値を調整できるようになります。(BAR = 小節数 = ミュートされている小節数、BPM = 練習速度)



STROKE COUNT

1. このモードでは、一定の時間内でどれだけ速く叩けるかを測定します。

2. S-CO モードで、ENTER を押して STROKE COUNT の練習準備モードに入ります。ディスプレイ表示が PREP1 に変わります。



3.PREP 1 の表示画面で、ドラムを叩きます。そこからカウントが進みます。練習終了する際は、CLICK を押して、PREP 1 の表示に戻します。



4.PREP 1 の表示画面で、MENU をクリックしてストロークカウントの設定画面に入ります。＋ボタンで設定の値を変更します。TIME = カウントを測定する時間)



システム設定

RESET (RSET)

1.DRUM モードで、MENU を押しセッティングモードに入ります。十一ボタンを押して、RESET を選択し、ENTER ボタンを押して確定させます。その後、RSETALL と表示されるので再度 ENTER ボタンを押します。表示画面がメインの画面に戻り、工場出荷時への初期化が完了となります。



SYSTEM (SYST)

2.DRUM モードで、MENU を押しセッティングモードに入ります。十一ボタンを押して、SYST を選択し、ENTER ボタンを押して確定させます。SYST の表示画面で、設定変更したいパラメーターを選択して、十一ボタンで変更したいパラメーターの値を変更します。



PANL= PAN LEFT



NOTE= MIDI NOTE



DRPC= MIDI OUTPUT CHANNEL



VERS=VERSION

AUX IN Recording

1. お手持ちのスマートフォンや iPad を AUX IN のインターフェイスを使って、DM-210 に接続します。
2. スマートフォンや iPad のレコーディング用のアプリを用いて、レコーディングモードに入り、演奏を開始します。

レコーディングされたデータはスマートフォンや iPad に保存されます。

* この機能を使用する際は、1/8"TRRS ケーブルをご利用ください。

BLUETOOTH

DM-200 シリーズとスマートフォンなどを接続し、音楽の再生を行うことができます。

1. スマートフォンの Bluetooth® を ON にします。
2. ブルートゥース機器の中で DM-200 SERIES を選択して接続してください。
3. 接続後は、スマートフォンから音楽を DM-210 上で再生可能です。

MIDI リスト

Function		Transmitted	Recognized	Remarked
Basic default		10	10	
Channel changed		No	No	
Note		0-127	0-127	
Velocity:	Note on	Yes	Yes	
	Note off	No	Yes	
After Key's		No	No	
Touch Channel's		No	No	
Control change:	0	No	No	Bank select
	1	No	No	Modulation
	5	No	No	Portamento time
	7	No	No	Volume
	10	No	No	Pan
	11	No	No	Expression
	64	No	No	Sustain pedal
	65	No	No	Portamento on/off
	66	No	No	Sostenuto pedal
	67	No	No	Soft pedal
	120	No	No	All sound off
	121	No	No	Reset all controllers
123	No	No	All note off	
Program change		No	No	
System exclusive		No	No	

ドラムキット一覧

01	STAD=STANDARD	09	HYBD=HYBRID
02	ROCK=ROCK	10	BLUE=BLUES
03	FUNK=FUNK	11	PERC=PERCUSSION
04	FAT=FAT	12	ELEC=ELECTRIC
05	JAZZ=JAZZ	13	DANC=DANCE
06	METL=METAL	14	TECH=TECHNOLOGY
07	SESS=SESSION	15	CHN=CHINA
08	STUD=STUDIO		

ディスプレイ：ネガ型表示液晶ディスプレイ

ドラムセット：15 プリセット

DEMO ソング：10

レコーディング：1

クリック：スピード、リズム、ビート、ボリューム

MIDI：USB MIDI、コンピューター自動認識

エフェクト：リバーブ

トリガー：3 タム、1 スネア、1 ハイハット、1 クラッシュ、1 ライド、1 キック

インターフェース：電源、出力、AUX 入力、USB、シンバル・トリガー、ヘッドホン出力端子

電源：DC9V センターマイナス、動作電流 200mA

*技術仕様は予告なく変更する場合があります。

NUX 輸入販売元

株式会社エレクトリ

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。
また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。